

令和5年度「地域情報化アドバイザー四国会議」 活動報告

2023年12月13日（水） 9:30-11:30

香川大学情報化推進統合拠点 准教授
DX推進研究センター 副センター長

（兼）香川大学創造工学部創造工学科 情報システム・セキュリティコース
デジタル化統括責任者補佐（CDO補佐）

総務省地域情報化アドバイザー
四国情報通信懇談会 地域デジタル実装部会 部会長
スマートシティたかまつ推進協議会 人材育成環境向上WG 代表
観音寺市地域公共交通活性化協議会 副会長

こめたに ゆうすけ

米谷 雄介

香川大学創造工学部創造工学科 情報システム・セキュリティコース 米谷研究室

ナレッジマネジメントシステム，データ利活用基盤の研究を実施

ナレッジマネジメントシステム開発に関する基礎知識を習得

市民の地域課題解決の支援 に関する研究

- ・お遍路マネジメント
- ・コミュニティバス活用
- ・地域コミュニティ連携

ナレッジマネジメントシステム開発 に関する研究

- ・データマネジメント戦略
- ・データ設計法
- ・データ生成・統合技法
- ・データ分析・可視化技法

組織の業務改善の支援 に関する研究

- ・建設従事者教育DX
- ・モデレータ人材育成DX
- ・国際会議LOC運営DX

社会の抱える様々な問題をナレッジマネジメントシステムを用いて解決する

データ利活用による市民の地域課題解決の支援・組織の業務改善の支援に取り組む

データ利活用型スマートシティ

データ利活用を通じて、まちの課題を解決する取り組み
スマートシティプロジェクト“Smart Santander”の例

[出典] <https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/080200047/120600044/>



一般車

一般
ドライバー

駐車スペース
上の車の有無

廃棄物
収集車

廃棄物収集
ドライバー

廃棄物コンテナの
集積率 (0~100)



多くの市民が市街地の駐車スペース探しに時間をかけている。資金提供したEUも、駐車スペースを探すのに自動車を無駄に走らせるCO2排出を問題視



住民用の廃棄物コンテナのうち、紙、ガラス、金属などの非有機物向けコンテナにセンサーを設置し、廃棄物量をモニターして、満杯になったコンテナだけを収集

まちの中のさまざまなモノの状態をデータとして捉え、収集したデータを分析・可視化することで、まちの「無駄」をなくすだけでなく「効用」を創出

自治体学における「住民」と「市民」

[引用] 森 啓, “自治体学”, <http://jichitaigaku.blog75.fc2.com/blog-entry-208.html>

住民

- 行政執行の客体（被治者）
- 自己利益・目先利害で行動し行政に依存する人
- 行政サービスの受益者

市民

- 公共社会を管理する自治主体
 - 公共性の感覚を体得し全体利益をも考えて行動することのできる人
 - 政策の策定と実行で自治体職員と協働することもできる人
-
- 実在するのは「住民的度合いの強い人」と「市民的要素の多い人」の流動的混在
 - 人は学習し交流し実践することによって「住民」から「市民」へと自己を変容

スマートシティのステークホルダーは「市民」

(1) 市民共創によるデータ利活用のユースケース創出

第一セクター（公的組織）の困りごと・・・100%の成果を求められる、失敗できない、公平性というワードに束縛され、プロジェクトの関係者が膨れ上がり／責任が曖昧になり、何がやりたいのかがわからなくなる

→ **いかにして対象利用者を具体的に／小さく始められるか？**

第二セクター（企業組織）の困りごと・・・お金を生まない取組には参加しづらい。補助金の切れ目が縁の切れ目になりがち。

→ **「いまここに在る」まちの「無駄」や「効用」にいかに気づくか？**

第三セクター（非営利組織）・・・地域の現場の最前線において、自治意識、問題意識は高いが、多種多様で統合支援が困難

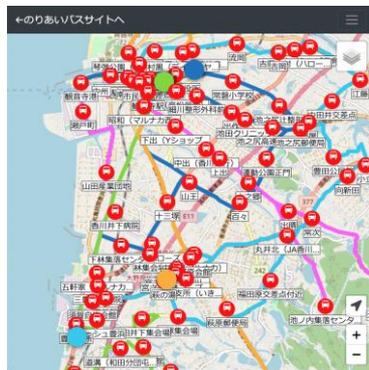
→ **真似したくなるサービス事例（ユースケース）をいかに創出するか？**

(2) データ利活用研究プログラムの実施

- まちのデータの利活用によるまちの課題解決を研究
- 研究員は自分の地域でのデータ利活用実践に研究成果を活かす

市民共創によるデータ利活用のユースケース創出

地域課題解決に対して自治意識の高い方々との共創活動



管理側の顧客問合せ対応が迅速になった
(宇多津町・観音寺市・坂出市・さぬき市・東かがわ市)

保護者は幼稚園バス・徒歩送迎の待ち時間を
今よりも有効活用できるようになった



イベント中に開催者・参加者がお互いの位置を共有し、効率的かつ安全安心に運営できるようになった

全長約1300kmある通路道を
ボランティアが協力して1日で点検できた

多様な自治主体との共創によりデータ利活用のユースケースを創出

一日一斉遍路道おもてなしウォーク 「遍路道点検マップ」

アフターコロナに向けて地元の人々でお遍路道を点検しよう！

第7回 **一日一斉 おもてなし 遍路道ウォーク**

参加者の方には **記念タオルマフラー贈呈!**

開催日 **2022年 2月23日** 水・祝 **参加無料**

場所 **四国の遍路道** 時間 **9時~16時頃**
約10キロ程度(各区分)

イベントの趣旨
誰でも参加可能な**遍路道点検イベント**!
四国遍路道約1200キロを、地元の人々を中心に一日で一斉にそれぞれの区分に分かれて歩き、遍路道が安全か、道案内が適切か、休憩場所やトイレは整備されているかなどを点検します。遍路をする人のためにもおもてなしの心で遍路道の点検をしながら気持ちよく歩きましょうか?

参加者募集 1月31日 締め切り
詳細、申込方法は裏面をご確認ください

NPO 遍路とおぼけのネットワーク

協賛: 四国遍路世界遺産推進協議会、総合型地域スポーツクラブ(四国4県の連絡協議会)、NPO 五人グループ88 四国、(公社)日本青年会議所 四国地区協議会
協賛: 四国電力 日本生命 STNet

協賛: 四国4県および教育委員会、四国地方整備局、四国財政局、四国運輸局、四国4県の経済界、高松商工会議所女性会、日本郵便株式会社 四国支社、四国家サポーターズクラブ

地図マーク説明

- 札所 (Pilgrimage Site)
- 中継番号 (Relay Number)
- 区間情報 申込み無 (Section Information: No Application)
- 区間情報 申込み有 (Section Information: Application Required)

※申込みの出発・到着地点はここから選択

※他グループと重複してもOK

イベント参加申込状況がわかることが参加の動機づけになった

イベント参加申込状況可視化ダッシュボード

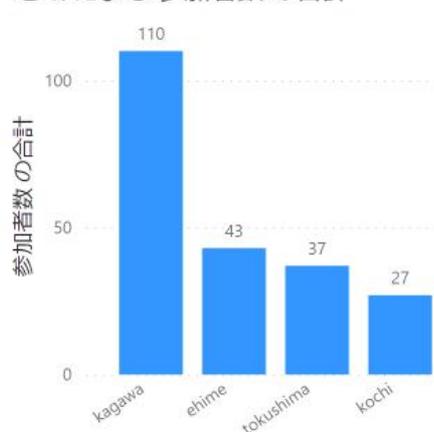
緯度および経度による参加者数の合計



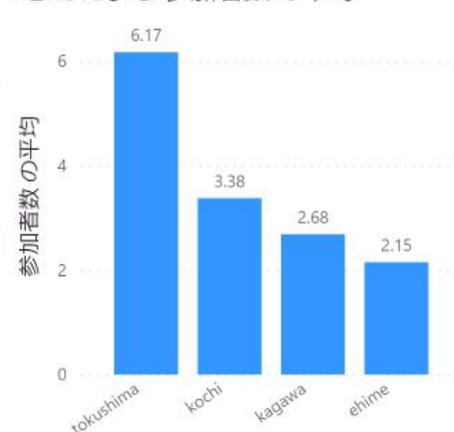
217

参加者数の合計

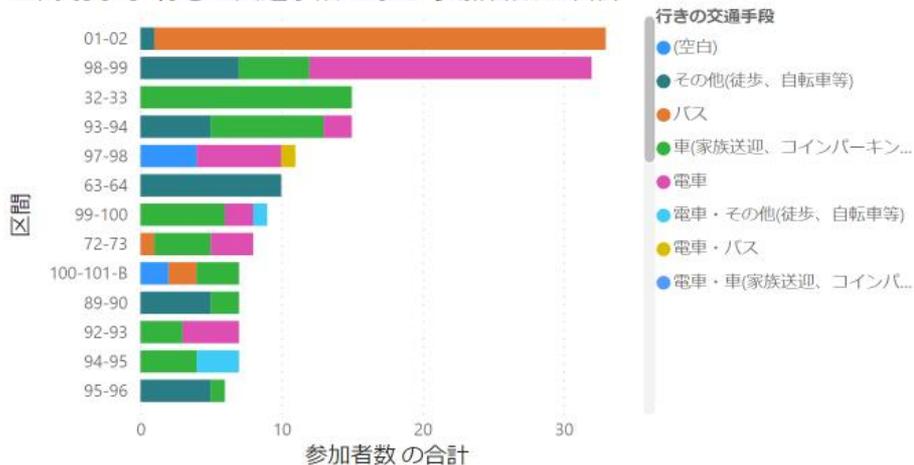
地域による参加者数の合計



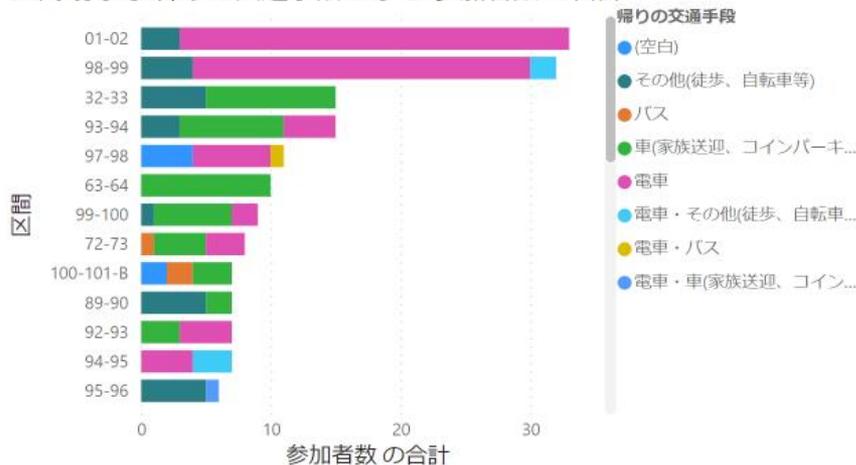
地域による参加者数の平均



区間および行き交通手段による参加者数の合計



区間および帰りの交通手段による参加者数の合計



地域イベントの支え合いを実現するために必要な業務工数が削減された

データ利活用研究プログラムの実施

令和5年度まちのデータ研究室



チラシPDFは [こちら](#)

地域運営をデジタル化し、地域の魅力を向上させよう

スケジュール

※詳細スケジュールおよびカリキュラムは裏面をご覧ください。

6月10日(土)

第1回 ハンズオン①

デザイン思考に基づくアプリ開発を体験してもらうため、非IT人材でもアプリ開発を実行できるローコード/ノーコード開発プラットフォームをもちいたアプリ開発手法を学びます。

6月17日(土)

第2回 ハンズオン②

各地域で収集されたデータをオープンデータ化して、データの2次利用によりさらなる価値創出につなげる手法を学びます。またIoT、AIといった先端IT技術で収集できるセンシングデータを統合することで、サービスの高度化を実現します。

7月1日(土)

第3回 アイデアソン・チームビルディング

香川大学で開発されているアイデア創出手法に基づいて、地域課題解決のアイデアを考えてもらいます。さらに共通する課題に対してチームを形成してもらいます。終了後、地域でのアプリ実践を通じてデータの充実やアプリを改善させるフィールドワークをおこなっていただきます。

8月26日(土)

第4回 成果発表会

それぞれの研究成果を研究室全体で共有していただきます。チームによるプレゼンテーションとブース展示を予定。

高松市(『スマートシティたかまつ』プロジェクト) / 日本電気株式会社 / e-とびあ・かがわ / と共同実施

地域課題解決に対する自治意識の高い市民のための研究プログラムの実施

データ利活用研究プログラムの実施

令和5年度まちのデータ研究室

成果発表会

日時：2023年8月26日（土）13:00～16:00

場所：情報通信交流館e-とぴあ・かがわ BBスクエア

参加者：

観音寺市職員（デジタル行政推進、ふるさと活力創生）

高松市職員（デジタル行政推進、都市計画）

香川県職員（デジタル行政推進）

地域起こし協力隊員（三木町、坂出市）

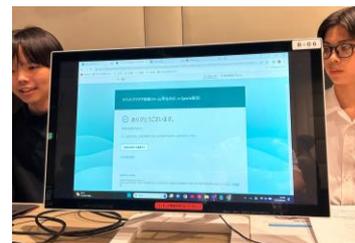
地域活性化に取り組んでいる方（豊島）

STNet、FNETS

香川大学創造工学部生（情報シス、建築都市環境）

坂出商業高校生

DX推進研究センター DXラボ スタッフ

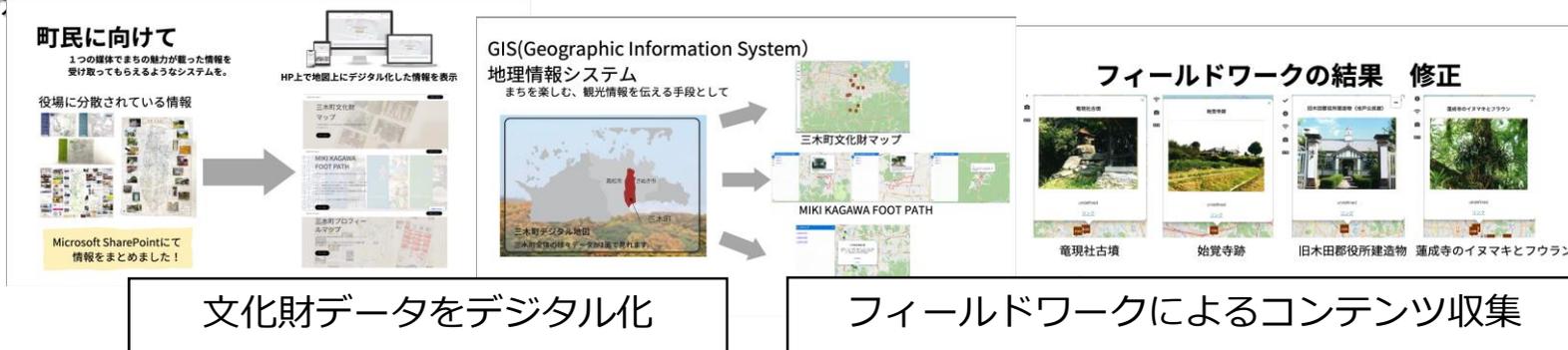


データ利活用サービスをデザイン→コンポーネントを組み合わせて実装

研究員によるデータ活用のユースケース

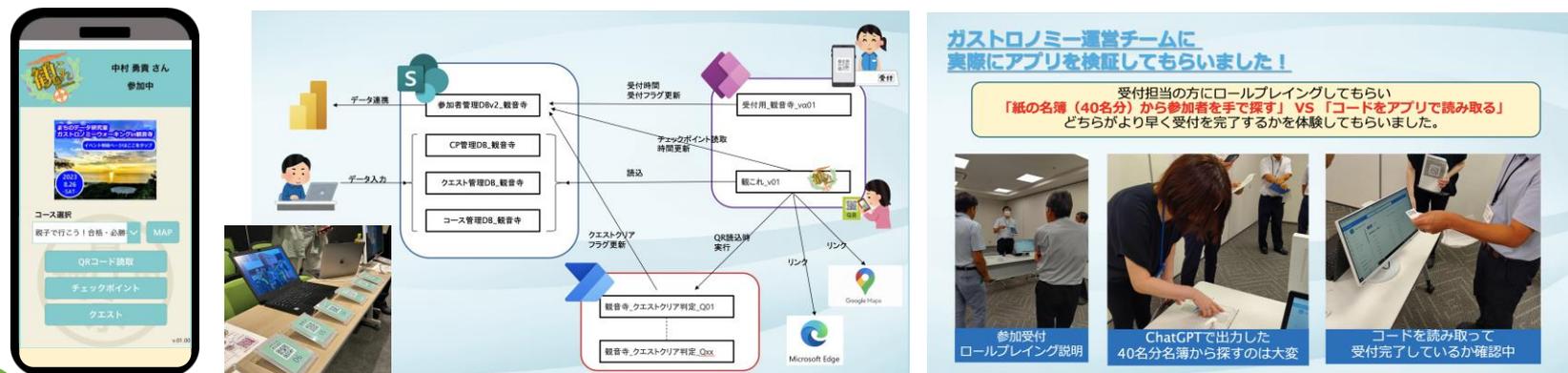
1. 三木町デジタルマップ by 三木町の良い所をひろめ隊

三木町の観光情報をデジタルマップで可視化。ひとつのマップで様々な情報を得られる仕組み



2. 観音寺これくしょん／坂出これくしょん by Skycode

まち歩きイベントの参加者が本アプリで地域の魅力 (QRコード)を集めることで、まちをもっと安全に巡ること・もっと好きになることができるまち歩きガイドアプリ。



まちあるきイベントでQRコード読み取り

タッチポイント計測、安否確認など効果